新アンソロジー「HAKOBUNE」作家本誌出張掲載！

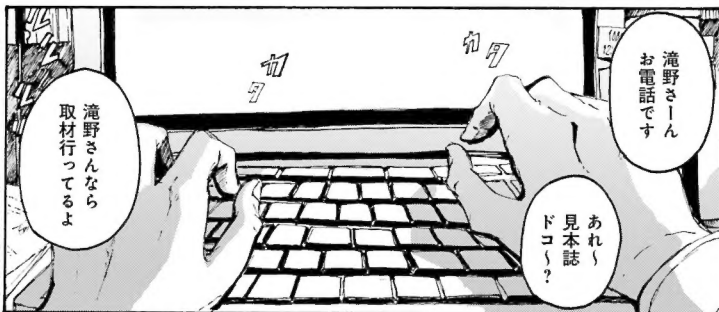
死んだ人の姿が
そこに現れたとき
それを
「幽霊」と誰かが名付けた

それが触れられず
この世に存在する
はずのない者で
あったとしても

〝名前〟があれば
少なくともそれは
全く未知の現象では
なくなるからだ。

んー 取材って
いうか情報収集
…かな
えぇ？
何ですかソレ
半ば 趣味の
ようなものだよ
しゅみィ？
金森――
気にすんな
いつものことだ

最早 西さんの
ライフワーク
だからね
はは
で？ 今日は
どんな面白い話
拾いに？

ちょっと
聞いたことない
変わり種

2017年春発売新アンソロジー
HAKOBUNE
特別読み切り第３弾
それは、一通の奇妙なメールから始まった――
幽霊の死体を見た
って話
期待の新鋭、デビュー!!
小松万記

彼の名前は仮にAさんとしておこう
どこにでもいるいたって普通の若者だ
私にメールをくれたのは同じゼミの先輩が私の会社にアルバイトに来ていた関係らしい

わざわざ会ってくれてありがとう
いえ
こちらこそお時間いただきありがとうございます
コ
ト
メールで大体の話は把握してるけど
とりあえず最初から話してくれないかな

それは人通りのない寂しい場所にある使われていない団地の一角で見た話だという

最初に見たときは
本当に人間だと
思ったそうだ
でもそんな寂しい所に
用なんて…
嫌な想像しか
湧かないものだ

まさか…
自殺…？
嫌だな…
今飛び降りたら
どうしよう

え…
うわ

なんか
こっち見てる
気がして
すぐ
立ち去ったん
です

自殺しようと
してたんですね
あなた

そうそう
まずそこが
気になってねぇ

カタ
カタ
……
なぜ…
あの近辺…
駅から遠いし
周辺には
工場しかない

夜中に
そんな場所
行く理由
思い当たりま
せんのでね

新卒
その頃彼は
就職活動に
かなり行きづまって
いたそうだ
新卒
とくに有名でも
ない大学の
文系学生
新卒
今のご時世
そうそう相手に
してくれる会社も
見当たらない
新卒

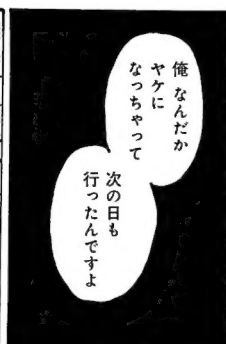
それで…
志望理由は
はは はい
私は元々
御社のような
海外進出に
せ 積極的な…
その…
うーん
あそこもダメ
だったかー
でも
こっちは
語学留学が
必須条件
なんだよねー
また
落ちた
もう何社
受けたか
覚えてない
もしもし?
母さんだけど
あんたまだ
就活中なの?
母さんの
友達の息子
もう決まって
るんですって
あんたも
頑張らなきゃ
ダメよー
就職浪人する
くらいなら
一旦地元戻って
きて――…

やっぱ
死のう

この前は
変な女がいて
ダメだったが
今日は
いないだろう
もうこんな
日々は
沢山だ
何もかも
終わらせて
楽になりたい

ちくしょう…
早く
飛び降りるなら
飛び降りろよ

…うそだろ
またあいつ?
バサ
バサ

他に死ねる場所
探せばいいのに
妙に気になって…

…え

じり…
な…

消えないの？

…まさか………
ゴロ

幽霊じゃ…

ヒッ……あっ
バッ

死体に触ってしまったってショックで…
ぐらっ

…だから
それは

普通の自殺と考えられるが

だったら良かった！

おかしいのはその後って…書きましたよね!?

……

…に

…のに

やっぱり

……また
死ねなかった

ペタ

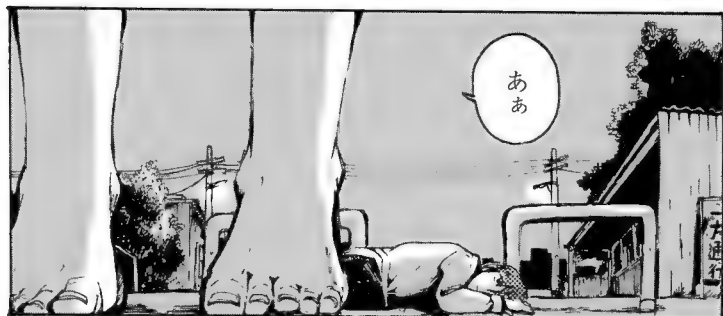
ペタ
ペタ

ペタ
ペタ

…また
死ねなかった
彼女は じゃあ
自殺に失敗した
人間…
でも…
おかしくない
ですか

お…俺
見たんです
頭…割れてて！
中から灰色の…
ぬるぬるした
あの廃団地
周辺の怪談
あんな状態で
また何事も
なかったみたいに

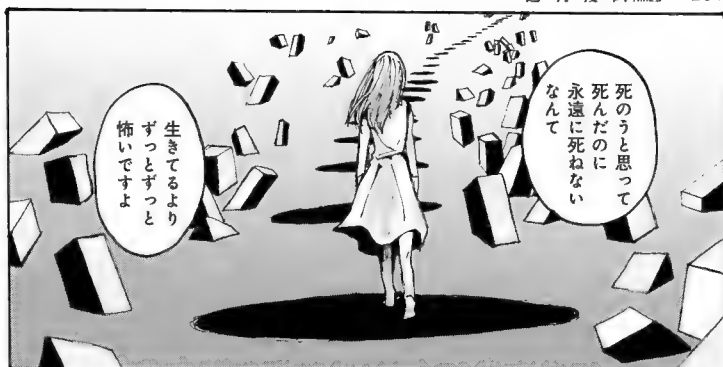
確かに女の幽霊のような
ものは出ると噂にはなっている
それが飛び降りるとも…
警察も何回か
通報を受けてるが
現地に女はいない
ただ自力で
離れたと
して…
そもそも彼女…
生きてるのか？
死んでるのか？

生きてるなら
死んでしまった
時点で歩ける
わけがない
なら幽霊？
死んでるのに
死体になる？
死者の死体？
矛盾だらけ
だ
あの…
なにか…
いえすみません
あまりに興味
深くてつい…

ところで
あなたはまだ
生きていますね

ああ
そうなんですよ
結局…
あれ以降…
すっかり死ぬ気も
失せまして

就活ごときで
怖がってたのが
バカらしく思え
ちゃったんです

別に落とされ
てもいいやって…
飛び降りるより
マシだなって
そしたら何とか
採用してくれる
とこ ひっかかり
ました

あれが
幽霊なら
死んでもあの世に
行けず ずっと
飛び降り続けてるって
ことでしょう？

死のうと思って
死んだのに
永遠に死ねない
なんて
生きてるより
ずっとずっと
怖いですよ

…ええ
今から会社
戻るんで
面白い話
だったよ…
少し調べて
ほしいことが
あるかな

ざわ
ざわ

何度も何度も
自殺をくり返す幽霊
ネタとしてはありがちだが
以降の話は
やはり妙だ

実体の無い思念が
生前の姿の幻影として
見えるのが幽霊なのに
思念の抜け出た
抜け殻の死体まで再現し
触れられる幽霊？
長年色々な話を
聞いてきたが
「幽霊の死体」なんて
初めて聞いたネタだ
嘘にしてもこんな
幽霊話らしくないネタを
仕込む意味がわからない

そう…幽霊が「死ぬ」上に
触れられる……

死体になったはずなのに
また自殺前の姿に
戻るということをのぞけば
生きてるのと
まるで変わらない

もし
そんな幽霊が
いるとしたら

たとえこの街の中に
幽霊がいたとしても
気付ける人など
誰一人
いないではないか
GAP
ALTE
OKINAWA

それはもう
幽霊とは呼べない
何か別の…
AKAMU

日常の中に、「それ」はひそかに紛れ込む――。

※この物語はあくまでフィクションで、実在の人物、団体、企業、地名などとは一切関係ありません。

幽霊の死体を見た【完】
HAKOBUNE特別読み切り第4弾は春頃掲載予定です!!